

『ダビンチSPサージカルシステムを用いたロボット支援下根治的 前立腺全摘除術（RARP）の治療成績の検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	済生会横浜市東部病院では2024年10月より新しい「ダビンチSPサージカルシステム（SP）」を導入して、「ロボット支援下根治的前立腺全摘除術（RARP）」を始めました。 この研究では、済生会横浜市東部病院でSPを用いたRARPの導入後の成績について、既存の「ダビンチXiサージカルシステム（Xi）」を用いた症例の成績と比較して、手術成績、安全性、および短期的な腫瘍学的アウトカムを評価することを目的としています。
研究の方法	2023年1月1日から2026年1月31日の間に「限局性前立腺癌」に対して単一術者が実施した「ロボット支援下根治的前立腺全摘除術（RARP）」138例を対象として、後方視的に診療情報を収集・分析します。 ダビンチSPを使用した（SP群）とダビンチXiを使用した（Xi群）に分けて、手術成績ならびに腫瘍学的アウトカムについて比較検討を行います。
対象者	済生会横浜市東部病院で2023年1月1日から2026年1月31日の間に「限局性前立腺癌」に対して単一術者が実施した「ロボット支援下根治的前立腺全摘除術（RARP）」を受けた患者さん。
利用する試料/情報	研究対象者背景：年齢、PSA、推定前立腺体積 術中記録：手術時間、コンソール時間、出血量、アプローチ方法、リンパ節郭清の有無、神経温存の有無 術後経過：退院時鎮痛剤処方の有無、病理結果（pT分類）、断端陽性の有無、術後尿失禁状況 など
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765 横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	研究結果の一部は、製薬・医療機器メーカー主催の講演会などでの発表を予定しています。公表する際には、研究対象者を識別することができないよう個人情報の保護に最大限配慮します。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、2026年11月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。 ただし、お申し出が研究結果公表後の場合は、撤回する事が実質上難しい場合があります。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 泌尿器科 / 部長 / 石田 勝
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 泌尿器科 / 石田 勝